

事業所名

たむら地方児童発達支援センター

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人理念		地域と共生を図り、負託に応え得る法人を目指します。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊んで、一緒に笑って、一緒に泣いて、たくさんの愛情を伝え、心の成長をサポートし「自分らしく生きる」を目指します。 お子さんや保護者様の困り感・悩みを共に考えます。内容によっては地域全体の課題として関係機関と連携して問題解決に努めます。 						
営業時間		9時	30分	18時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康やかに過ごせるよう健康状態を常に観察します。また、リズム体操や外遊びを取り入れ体力向上に向けて支援します。 生活リズムや生活習慣の形成の為、活動の流れをスケジュール化し見通しを持って活動出来るように支援します。 身辺自立が獲得の為に、身の回りの整容を学べるよう片づけ、手洗い、身支度などが習慣づけられるよう支援します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢の保持や動作の習得、身体の使い方等、感覚の統合的活用を目指し支援を行います。製作やハサミ・のり等、色々な道具・材料を使用し手先の微細運動に取り組み、ボタンや箸を持つ等、基本的な生活動作の基礎になる力を育てます。また、感覚統合の改善を目的に、トランポリンや平均台、縄跳び等、体全体を動かしながら手足の協応運動を行います。 スライムやお手玉、楽器等でリズム・感覚遊びを取り組み、感覚の認知や力の強弱を学ぶ事が出来るよう支援します。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 絵カードや文字カードを多用し、視覚から得られる情報を基に理解を促進し、適切な行動に結びつけていけるように支援します。 活動を通して最後までやりきる事や、環境・場面に合わせた指示を理解し、行動に繋げるという一連の認知過程の発達を学びます。 空間、時間、数、文字等の概念形成に向けて、かるたや矢印体操、人間すごろく等、文字や数字・左右などの理解を深めます。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語・非言語と、多様なコミュニケーション手段を活用して意思の伝達を図り、本人の伝えたい気持ちを引き出し支援します。 他児との関わりの中で、挨拶や日常会話のスキル向上や、自分の気持ちを伝えたり相手の意見を聞き入れる等のコミュニケーションスキルが向上するよう支援します。 しりとり、かるた、なぞなぞ等、遊びを通して文字への興味関心を深め、読み書きへと繋げると共に、語彙力が向上出来るよう支援します。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> スタッフやお友達と信頼関係を構築し、対人関係を豊かにすることで情緒を育み、社会性や仲間意識、自己理解や他者理解が高まるよう支援します。 椅子取りゲーム・リレーなど集団活動を通して、友達と一緒に活動する楽しさを感じたり、ゲームのルール理解や順番を待つ・並ぶ・協力する等の経験から社会性を育てます。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 事業所での様子・家庭での様子を情報共有し、お子さんの発達課題を相互理解出来るようにします。 困り感や悩みがある際には、個別面談の時間を設けお話を聞き、お子さんの特性や現在の状態を考慮し相談援助をします。 児童発達支援では、ご希望に応じて親子通園を行い、お子さんとの関わり方や遊び方の理解を深めます。行動面への疑問点はその場で解説しながら助言し、発達の理解を深める事で、子どもの成長の基盤となる家庭生活や親子関係が充実するよう支援します。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ライフステージの切り替えを見据え、就学・進級・進学に合わせて、保護者様に学校情報や福祉資源の情報提供を行い、将来的な移行に向けた準備を支援します。 就学や進学などライフステージの切り替えに向けて、お子さんの活動内容にプレスクールや面接練習、小中学校の違いについての学習やボタン・靴紐練習を行い移行後の困り感が少なくなるよう支援します。 移行後に安定した生活を送る事が出来るよう、移行先の学校や施設に対し、お子さんの情報提供を行います。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 保育所、学校、医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する個別のケース検討会議への出席をします。 地域のボランティア希望に対して積極的に受け入れをしていきます。 地域の公共施設を利用し、お子さん自身が地域資源を活用出来る力を養い、共生社会に向けて生活力が高まるよう支援します。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 公的な外部研修及び法人内部研修や事業所内研修を実施し、スタッフの知識と技術の向上を図って行きます。 支援の中で対応困難な場面があった際には、事例検討会を行いスタッフの発達特性の理解や対応力の向上を目指します。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節の移り変わりを感じられるよう、お花見や夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、もちつきなど各季節に沿った行事を開催します。 自立・移行に向けた行事として、調理実習や映像鑑賞会、外食支援、買い物支援、映画館に行こう、就労施設見学会など、地域の施設を知り実際に利用する体験を積み重ねていきます。 通常の活動内でも夏場のプール、季節を感じられる製作、お正月遊びや雪遊びなど子ども達が楽しみながら季節感を味わえる内容を実施します。 						